

令和6年度 前期後半始業式あいさつ（8月27日（火））

みなさん、おはようございます。

ついに夏休みがおわりましたね。夏休みは楽しかったですか？

みなさんが今日、元気に登校してくれたことを本当にうれしく思います。

さて、夏休みに入る前に、校長先生が話したことを覚えていますか？

明るい元気なあいさつのこと、いろいろなことをがんばること、友達を大切にすること、話の聞き方、そして、命を大切にすることと、家族のためにお手伝いできる仕事をがんばることを話しました。

今日から、いよいよ前期後半の生活が始まります。

そこで、どんな学校生活をつくりあげていくのかという話を今からします。

「道は二つに一つ」というお話です。

私たちは、毎日生活していく中で、いろいろな道を自分で選んでいるのです。

一つの道も「あ」に向かう道もあれば、「い」に向かう道もあります。どちらに進むかは、自分で選んで、自分で決めています。だれでも、そうしています。

何かを「やる」道を選ぶのも、「やらない」道を選ぶのも、あなたたち自身が決めています。例えば、家に帰ってすぐに宿題をやるのか、やらないのか、自分でできているでしょ？ あっという間に、自分の中でどちらかを選んでいるのです。

何かを「一生けんめいやる」のか、それとも「いいかげんにやる」のかも決めていますね。

例えば、そうじの時間に、時間いっぱい一生けんめいにやるのか、いいかげんにやるのか、これも自分で決めているのです。先生や友達が決めているものではありません。全部、自分で決めているはずですよ。

「温もり」の道と、「冷たさ」の道もそうです。人にやさしい、温もりいっぱいの行動をとるのか、人にやさしくない、冷たさいっぱいの行動をとるのか、これも決めているのは自分自身です。

みなさんは、どちらの道を選ぶ人になっていきますか？

学校だけでなく、地域でも、明るく元気なあいさつをしっかりとる道を進みますか？それとも、あいさつしなかったり、小さな声でしかあいさつできなかったり、さらには、あいさつされても知らんぷりする道を進みますか？

誰かと会って、あいさつをするかしないか、1秒もかかからないで決めているのです。7月までの自分はどちらでしたか？これからどちらの道を進みますか？

授業中のやる気と姿勢はどうですか？

きちんとした姿勢で、一生懸命に話を聞いたり、考えたり、話し合ったりする道を選びますか？それとも、くずれた姿勢で、やる気のない態度で、授業を一生懸命に受けない道を選びますか？

もう一つ、授業のことで。手を挙げて発表することです。指先までピンと伸びて、まるで教室の天井に穴が開くかのような手を、クラスみんながやり続ける道なのか、それとも、自信がなかったり、やる気がそこまでなかったりして、ドヨーンとした雰囲気が出るクラスにしていくのかということ。

前期前半の様子を観て感じたことは、手を挙げて発表する人と、そうでない人に、はっきりとわかれているなあということです。まったくわからないときに手を挙げる必要はないのですが、授業というのは、みなさんの「わかる」「わからない」を調べるものではありません。授業というのは、初めて学ぶ内容ばかりですから、みんながわからないのが当たり前です。そのわからないところから、みんなで力を合わせて「わかった」というところにたどりつくのが授業です。言い換えると、授業は、みんなの力でつくりあげていくものなのです。今まで、「はずかしい」という気持ちや、「間違えたらイヤだ」という思い、「自分が言わなくても、誰かが言うだろう」という考えで、なかなか手を挙げられなかった人もいたかもしれません。そこから一歩踏み出してみましょ。決して、人任せにしない自分へと頑張っていましょ。

自分たちの授業は、自分たちでつくっていく。そんな道を選び続けてほしいと願っています。

それから、だれかが泣いていたり、落ち込んでいたり、悩んでいたりしたとき、そっと側に寄り添っていき、手を添えたり、声をかけたりできたらいいですね。人を大切にすることって、本当に素敵です。逆に、友達のそんな姿に無関心・知らんぷりだったり、ばかにしたり、笑ったりする、人に冷たい道を選ぶ人間にはなりたくないですね。

最後にもう一度まとめます。「道は二つに一つ」。どちらの道に進むかは、自分で選んで、自分で決めます。

大事なことは、自分を高めるということ、そして、人を大切にすることです。

みなさんが、どのように道を選んで、すてきな人へと育っていくか、楽しみにしています。これで校長先生のお話を終わります。